

**2014年度総会のお知らせ** 2014年度通常総会を下記の通り執り行います。  
 日時：2014年5月17日（土） 午前9時30分～12時 場所：守山市生涯学習会館（エルセンター）  
 ※総会后、地域づくり総務大臣表彰を受賞された藤井絢子さんに記念講演をお願いしています。

**2013年度 新会員のご紹介**

2014年度新たに11名の方が当NPO法人の会員として仲間入りされましたのでご紹介します。一緒に楽しく活動しましょう！

個人会員（敬称略）

笹谷 康之	木島 忠裕	木島 光子
小西 孝司	本田 恭子	池田 眞二
柏尾 珠紀	宮本 結佳	田村 英太郎
並河 聰	宮城 亜由子	

**第15回世界湖沼会議参加者募集**

日時：2014年9月1日～9月5日  
 場所：イタリア（ペルージャ）  
 お問い合わせは豊穰事務局まで

2014(第11回)

**第11回守山ほたるパーク&ウォーク**

～絆を照らすこころの灯り～

2014年度、守山ほたるパーク&ウォークの開催に向けて準備が始まりました。2月7日（金）の設立総会で金崎いよ子当法人副理事長が実行委員長に、ほたる部会、地域振興、広報啓発、交通対策の各部長、副部長が満場一致で承認されました。



実行委員長から、「今年もおもてなしの心で、人にも環境にもやさしい、何よりもスタッフが楽しいと思えるイベントを作り上げましょう。」とあいさつがあり、会場から大きな拍手がおこりました。

期間：5月30日（金）  
 ～6月8日（日）

**広報作りボランティア募集！**

豊穰の郷だよりを一緒に作りませんか？

文章を書くことが好きな方、広報作りに興味のある方、私たちと一緒に活動していただきませんか？興味ある方、ぜひびわこ豊穰の郷事務所までご連絡ください。TEL077-583-8686

**ファックス番号が変わりました**

2014年2月より、当法人のファックス番号が変わりました。

新しい番号は**077-558-5007**です。どうぞよろしくお願ひします。

**しじみのひとりごと**

先日、家内が久しぶりに「シジミ」の炊いたのを食べたいと云ったので、馴染みの店に行ったら、ここしばらくは置いてないとのことだった。店主曰く、手に入るのは韓国産や中国産ばかりで、近頃では琵琶湖産なんて手に入らないとのこと。そう云えば他の店を廻っても、佃煮はあるが生姜と甘辛く炊いたシジミは見当たらない。我々が小さい頃、夏になると砂浜を足で探りながらシジミ取りをした光景は、今はもう望めないのだろうか？シジミが好きな時に好きなだけ食べられる琵琶湖を後世に残したいと思った一日であった。

H.Y

**守山ほたる**

**サポーター募集！**

認定NPO法人びわこ豊穰の郷では、守山ほたるサポーターを募集しています。

**守山ほたるサポーターとは？**

豊穰の郷は、守山市内の里中川でホタルが飛び交うふるさとを、守り育てる活動を、続けています。これを財政面で支援して頂ける方が「守山ほたるサポーター」です。

**サポートの方法**

サポートには2つの方法があります。

**その①賛助会員に登録する**  
 賛助会員は年間3,000円の会費をお納めください。

**その②寄付をする**  
 一口3,000円以上のご寄付をお願いします。これらのご支援で、豊穰の郷は更に活動の幅を広げることができ、より良い水辺を作りあげることができます。皆さまのご協力をお待ちしています。

2014年3月31日 発行部数 1000部

発行 認定NPO法人びわこ豊穰の郷  
 編集 環境情報発信事業部  
 住所 守山市勝部五丁目10番地25号  
 TEL 077-583-8686  
 FAX 077-558-5007  
 E-mail houjyounosato@lake-biwa.net  
 URL http://www.lake-biwa.net/akanoi/



**しが生物多様性大賞 特別賞受賞！**  
 ～ オオバナミズキンバイ除去プロジェクト ～

この度は、「しが生物多様性大賞 特別賞」を与えて下さった、滋賀経済同友会、滋賀県知事に、オオバナミズキンバイ除去プロジェクトを代表しまして一言お礼の言葉を述べさせていただきます。

2009年、突如として赤野井湾に現れた外来生物オオバナミズキンバイ、その驚異的な繁殖力の水草を一刻も早く除去しないと赤野井湾に生息する全ての生き物が絶滅するのでは、と危惧を抱き、豊穰の郷が中心となり、多くの団体の皆さんに協力を呼びかけプロジェクトを立ち上げました。

情報の共有や現地調査と勉強会で、早期除去の大切さを学び、スクラムを組んで活動を始めたところ一回に100名を超える方々が協力してくださいました。



地域の人たちと共に、企業、団体、学生、行政、NPOが琵琶湖・赤野井湾を守ろうと、きつい、汚い、危険な作業の中で、泥んこになりながら汗を流す大切さ、年代を超えた連携のお陰で私たちは、若者から元気パワーを貰いました。しかし、赤野井湾と、そのワンドに広がる現状では、ボランティアと人力では、限界があります。効率の高い駆除方法、拡散防止の処置、循環を生かした処理などなど、早急に解決方法を確立して欲しいと、切に望んでいます。困難な問題も多々あるでしょうが、次世代に豊かな赤野井湾を、引き継ぐ為にも、オオバナミズキンバイ除去プロジェクトは、今日の受賞を誇りとし、励みとして、尚一層頑張りたいと思います。今日は本当に、有難うございました。（3月4日 受賞記念スピーチより抜粋）



**認定NPO法人びわこ豊穰の郷誕生！**

～ 皆さまのおかげです！ ～



認定NPO法人の獲得基準に最大の難関PST(パブリークサポートテスト)があります。この基準を克服するには相対値基準と絶対値基準があり、豊穰の郷はその両方の基準をクリアすることができました。相対値基準では会費や寄付金、助成金が多く活動の公益性が高いこと、絶対値基準では一人3000円以上の寄付者が100人以上集めることが必要となります。

この一年間、絶対値基準をクリアするために、意を決して多くの知り合いや仲間へ呼びかけて下さったみなさんのおかげで、120名を超える方がそれに応じて頂き、ようやく認可申請を出すことができました。そして2014年2月27日に、ついに認定をいただくことができました。

認定NPO法人の最大の利点は賛助会費も、寄付金も、最大50%税金が控除されるということです。みんなで認定が頂けたことを喜び、今まで以上に賛同をいただけるようがんばりましょう。

本当にありがとうございました。